

NST・褥瘡対策委員会では、褥瘡または栄養にまつわる勉強会を行っています。

5月は、がん化学療法看護認定看護師 幸坂知美さんと、緩和ケア認定看護師 本真季さんの講義でした。

「がん患者のための食と口腔ケアについて」

口腔粘膜炎の始まりから治るまで (化学療法の場合)

治療開始 1日目	・ 口の中に変化なし
3～5日	・ 粘膜が腫れぼったくなる ・ 表面がつるつる光る
7～12日目	・ 粘膜の表面が赤くなり、その粘膜の一部がはがれ、潰瘍をつくる
3～4週間目	・ 粘膜は再生してもとの状態に戻る

がん治療による口腔粘膜炎パンフレット(静岡県立静岡がんセンター)

口腔粘膜炎発症時の看護師の役割

- ・ 予防
 - 頻回な含嗽
 - アロプリノール含嗽
(5FU, TS-1, ゼロダ使用時)
 - クライオセラピー
 - 清潔
 - 保湿
- ・ 口腔粘膜炎発症時
 - 食事の工夫
 - 鎮痛剤の使用
 - 口腔粘膜の保護



悪心・嘔吐出現時の看護師の役割

- ・ 正しい薬物療法を行うため、医師への的確な情報提供を行う
- ・ 精神的サポート
- ・ 環境整備
- ・ 食事の工夫

口腔ケアの基本ステップ

加湿	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室内の乾燥 (加湿器など) ・ 口腔内の乾燥予防 (マスク着用、氷片を含むなど)
歯磨き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刺激を与えない口腔ケア (口腔ケア用具の工夫)
粘膜ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刺激の強い料理 (食材) は避ける ・ 口腔トラブルに応じた口腔用材の使用
保湿 (蒸発を予防)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 唾液の分泌を促す (ガムを噛む) ・ 湿潤作用のある口腔用剤の利用

次回の NST・褥瘡勉強会予定

決定次第、お知らせいたします。